

**[Reference 2]**

Japanese Utility Model Publication No. 35-11354

Disclosure Date: May 26, 1960

Applicant: Mr. Lath Haekan (correct spelling not known)

Title of Invention: Stick-shaped Lip Stick having Closing Tube

As shown in the drawings, a single member 10 has an outer tube portion 15, a holding portion 11 and a color composition 13 and a pin-shaped applicator portion 12. It further has a closing cap 14 attached to the holding portion 11.

The cap 14 is slidably attached to the holding portion 11 and sits on a step between the holding portion 11 and the outer tube portion 15.

125 C 14

特 許 庁  
実 用 新 案 公 報実用新案出願公告  
昭35-11354公告 昭 35.5.26 出願 昭 32.4.23 (前特許出願日援用)  
実願 昭 34-28398 優先権主張 1956.4.26 (ドイツ国)出願人 考案者 ラース、ハエカン、フ ドイツ国ハムブルグ36アルヌテルーフ  
レメンツオン エル38 (国籍瑞典)  
代理人 弁理士 三 上 歳 衛 (全2頁)

## 閉鎖套管を有する棒状口紅

## 図面の略解

図面中第1図は本案口紅の一部を部分的に切断して示す立面図、第2図はその平面図、第3図は本案口紅の立面図である。

## 実用新案の説明

化粧用として一般に知られている棒状口紅は多量の色素合成物を有するものでこの合成物は例えば毎日使用しても数ヶ月使用できる。

このように長期間使用すれば棒状口紅はその使用側に於て望ましくない変形を為すようになるのは勿論である。又ケースは汚れ易い。色素合成物は軟化するから完全に使用し尽す前に新しい口紅を買わなければならないことがしばしばある。更に色素合成物を数ヶ月間貯蔵すれば棒状口紅の直径は割合に大きくなる。この為には輪廓を明確にする為のブラシ又は筆を必要とする。又時には色の変化が望まれることもあるから多数の棒状口紅即ち所謂多色棒状口紅を必要とし公知の方式で異なる色合の数種の棒状口紅を共通の一容器内に配置する。併し乍らこのような組合せは特別の機構を必要とする。

この点について適量の色素を部分的に被着した堅固な担持部材を有する棒状口紅に依つて適当な方式で化粧上の要求を満足させることが本案の目的であり後述のように本案の棒状口紅は多数の担持部材を結合して長い柄を形成し各担持部材は色素被着部に反対の端部で相次ぐ担持部材の色素被着端を収納するようになっていたことを特徴とする。

堅固な担持部材に縮小突起を設けて保持区分を形成しその直径を担持部材の反対端に於ける套管状凹所に相応させて以て所望数の担持部材を交換できるように互に挿込むことができるようにする担持部材の各套管状凹所は常に1個の被着された適用端を包含して鉛筆状の配置を形成する。最先頭の適用端は分離した閉鎖帽体で被われている。

棒状関係で組立てられた担持部材のこのような棒を紙等の縦方向の条片に依つて容易に分離できるように結合させる。1個の担持部材と1個の閉鎖帽体とだけを組合せる時には帽体を点溶接又は膠着に依つて或は摩擦抵抗に依り取付けることができる。

図面に示すように単一の担持部材10は套管状凹所15と保持区分11と色素合成物13を担持する更に縮小されたピン状の適用部12とを有する。保持区分11には閉鎖帽体14が被せてある。適用部12と反対側の担持部材10の端部に在る套管状凹所15は第1図に示すように套管として成形されその寸法は保持区分11を収納できる程度である。このようにして套管状凹所15と保持区分11と適用部12とを有する任意所望数の担持部材10を挿込によつて組合わせる(第3図参照)。最先頭の担持部材は分離した閉鎖帽体14に依つて閉鎖されている。

単一の担持部材にとつては閉鎖帽体14は保持区分11を摺動できるように包囲する簡単な套管であつて保持区分11と套管状凹所15との間の段階部上に座着できるようになつている。担持部材10と閉鎖帽体14とはそれぞれ半径方向に延展する突片11及17を有しこれらに依つて前記両体を点溶接、封着等に依つて結合して誤用を防ぐ、同様に数個の担持部材をテープ18に依つて着脱自在に連結することができる。このテープは担持部材10の小部分だけを被覆し紙、織物、箔等で作ることができる。

色素合成物以外の総ての部分を合成材料特に透明又は半透明の合成物質で作るとよい。これらの部分は圧搾成形し又はダイ・カストで作り従つて交換できるようにする。併し乍らこれら部分を金属、ガラス、木材又は他の適宜材料で作るか又は一担持部材又は担持部材全部に対して異なる材料を使用することもできる。

色素合成物13は任意の色合で且又公知の合成物

で作ることができる。

本案に依れば色素合成物は約2、3日間持続し滴状である点に於ても適用及経済上重大な利益が得られるのである。滴状であれば特別な筆又はブラシを必要とせずに棒状口紅を適用する場所の輪廓を明確にすることができる。口紅合成物が薄いから特別に細かい調製ができて色素合成物は常に同じ成分を有する。2、3日間だけで消費されるから完全に衛生的な適用が保証される。少量であるから販売価格が安い。色素合成物を使い終わったら棒状片を棄てて常に新しい色素合成物を利用できる。

本案に依る棒状口紅は輪廓を明確にするのに極めて気持よく取扱いができ第3図に示すような綺麗な棒状口紅配置は割合に長い筆状の把手に依り適用を簡易化する。数個の組合せた担持部材でさえも小さな棒のように形成されバンド・パツグの中にしまい込んで置かれる程度の寸法である。

速に交換でき価格が低廉であるから種々の色合又は色素合成物の多数の棒状口紅を配置すること

ができる。色合を第3図に示すような筆状形に組合せて各担持部材10を交換することに依り任意所望の色合を使用位置に出すことができる。担持部材をダイ・キャストした互に嵌合する合成部分から作ることができる。

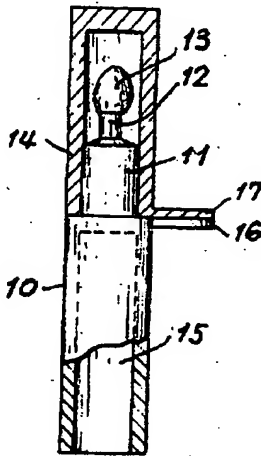
自由端に於けるピン状の適用部12が総ての側から同様に色素合成物に依つて圍繞されていた従来公知の円筒形色素合成物を有する棒状口紅に依つては得られなかつた方式で本案に従い適用を保証し塗布場所の輪廓を明確にすると共に少い適量の合成物を規則的に消費させることが重要なのである。

### 登録請求の範囲

図面に示すように適量の色素物を部分的に被着された堅固な担持部材を有するものに於て多数の担持部材を結合して長い柄を形成し各担持部材は色素被着部に反対の端部で相次ぐ担持部材の色素被着端を収納するようになつてゐる棒状口紅の構造。

第3図

第1図



第2図

